

出版検閲へのアプローチ

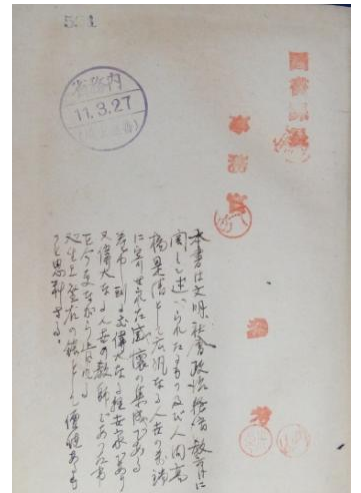
— 2009・2010 年度「内務省委託本」調査報告 —

戦前期の日本では、内務省があらゆる出版物の検閲を行っていました。その実態を解明する上で、千代田図書館が所蔵する**内務省委託本**は、きわめて貴重な資料です。

このミニ展示では**内務省委託本**の特徴および、実際に**内務省委託本**を扱った調査の事例として高橋是清の著作『随想録』や、『女優情史』『探偵常識』などに残された傍線やコメントへの考察をご紹介します。

展示期間 2011年 6月27日(月)～8月27日(土)
開催場所 千代田図書館 9階
セカンドオフィスゾーン内 ミニ展示コーナー
開催時間 <6月>10:00～20:00、<7・8月>10:00～17:00
休館日 7月24日(日)
お問合せ 千代田区立千代田図書館 Tel.03-5211-4289

※ 節電協力のため、開催時間・休館日は変更になる可能性があります。
ホームページまたは館内掲示等で最新情報をご確認ください。



高橋是清著『随想録』
(千倉書房、昭和11年3月)の見返しコメント

ミニ展示関連講演会

戦前期の出版検閲と法制度

戦前期の出版検閲は法によってどのように規定され、検閲を行った 内務省図書課はいかなる機関だったのか。出版法制、組織体制、そして様々な禁止処分の形を通して、昭和初期を中心に出版検閲の実態についてお話します。(3月11日の震災により延期となっていた講演会です)

開催日時 2011年 7月2日(土)14:00～16:30
開催場所 千代田図書館 9階
特設イベントスペース (13:30開場)
講師 浅岡邦雄氏 (中京大学文学部准教授)
定員 60名(当日先着順・事前申込不要・参加無料)
お問合せ 千代田区立千代田図書館
共催 神田雑学大学

